

2022年12月6日

プレスリリース

報道関係者各位

HPC システムズ株式会社
代表取締役 小野 鉄平
(コード番号: 6597 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長 下川 健司
(電話番号: 03-5446-5530)

HPCシステムズ、NTT東日本とローカル5G活用普及を目指し 「ギガらく5G」の再販契約を締結

HPCシステムズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 小野 鉄平、以下 HPCシステムズ)は、東日本電信電話株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 澁谷 直樹、以下 NTT東日本)が提供中の「ギガらく5G」の再販契約を締結しましたので、お知らせいたします。

この再販契約に基づき、NTT東日本の新商品 企業向けマネージド・ローカル5Gサービス「ギガらく5G」の提供を開始するとともに、ローカル5G無線局免許取得をご希望のお客様へきめ細かい個別サポートサービスを提供し、HPCシステムズが開発した日本国内5G通信対応のオールインワンエッジコンピュータ「Edge Tank[®]」やCTO技術を応用した各種ソリューションを組み合わせ販売してまいります。

※「ギガらく5G」: <https://business.ntt-east.co.jp/service/gigaraku5g/>

※「Edge Tank[®]」: <https://embe.hpc.co.jp/product/edge-tank/>

※CTO各種ソリューション: <https://embe.hpc.co.jp/industry/>

【ローカル5Gをめぐる現状】

「ローカル5G」とは、一般5Gネットワーク(パブリック5G)から切り離された建物内や区域内などの限定範囲で使用可能な独自の5Gネットワークです。昨今、パブリック5Gの「高速・大容量」「高信頼・低遅延通信」「多数同時接続」に加え、ローカル5Gの「安定した大容量通信」「アップリンクを高速化するカスタマイズが可能」という特長を活かした課題解決や付加価値創造が、様々な産業分野やビジネスシーンで注目されています。

例えば、ローカル5Gネットワークの環境下、HPCシステムズが得意とするSmart Factory(以下、SF)、Edge AI、Edge IoTなどのCTO技術を組み合わせスマートファクトリー化した工場では、ウェアラブルデバイス、センサー、ネットワークカメラ、生産管理システムなどから各種データをリアルタイムに収集、瞬時に集約・分析することができます。そして、生産ラインや作業工程のみならず、設備・装置、材料、作業員など生産に係る構成要素が可視化され、QCDの向上、人材不足や育成への対応、新たな価値創造といった様々な成果が生み出されます。



一方、ローカル5Gの導入・運用にあたっては、「導入コスト・運用保守コストが非常に高い」「免許取得やエリア設計に専門知識が必要・手間もかかる」「導入後のシステム監視やトラブル時の対応が困難」などの課題があります。こうした課題を丸ごと解決する商品が、NTT東日本の企業向けマネージド・ローカル5Gサービス「ギガらく5G」です。

「ギガらく5G」の主な特長

- キャリアグレードな機能・トータルITO(準同期に対応した本格的な5Gスタンドアローン機能を事前手続きから運用までトータルITOとワンパッケージ)
- 導入しやすい利用料金(従来価格の約1/5で必要な全てが揃う)
- 多様なシステムラインナップ(屋内外など利用環境に合わせた多様なラインナップ展開)
- 選べる料金プラン(サブスクリプション型、またはイニシャル中心の一括支払い型料金プラン)
- 柔軟なシステムスケーラビリティ(実証～本格運用、既設NW環境の拡張等柔軟に対応)

【ローカル5G無線局免許取得時の課題への対処】

ローカル5Gの普及を妨げる一因として、「免許取得やエリア設計に専門知識が必要・手間もかかる」という課題があります。具体的には、電波法・電気通信事業法・ローカル5Gシステムについての理解、総合通信局・携帯無線通信事業者他との協議・調整および申請書類・図面の作成や提出を行うに足る専門的知識が求められます。

HPCシステムズは、AIプロセッサ、GPU/FPGA、アクセラレータ、拡張インターフェース、通信モジュールなどを自在に組み合わせる「CTO技術」を駆使し、日本国内の5G通信に対応したオールインワンエッジコンピュータ「Edge Tank®」を他社に先駆けて開発、2022年4月22日に販売を開始しました。こうした製品開発で培った5G通信に係る最先端の知見や技術をフル活用して、NTT東日本とともにローカル5G無線局免許取得をご希望のお客様へきめ細かい個別サポートサービスを提供し、「ギガらく5G」の販売促進、日本国内におけるローカル5G普及および産業DX化の加速に貢献してまいります。

【CTO事業の販売強化】

HPCシステムズは、この度のNTT東日本との再販契約を通じ「Edge Tank[®]」販売のみならず、ローカル5Gネットワークの環境下でこそ本領を発揮するSF、Edge AI、Edge IoTなどの各種CTOソリューションの販売強化を実現いたします。

※SF : デジタルデータやAIを活用し、工場の業務プロセスの改革、品質・生産性の向上を継続発展的に実現する技術

※Edge AI : 端末が取得したデータをクラウド環境に送らず、端末側でAIによる推論まで実行させる技術

※Edge IoT : IoT機器近くにエッジサーバーを設置しデバイスから取得したデータを迅速に処理しつつ、必要なデータのみをネットワーク経由でクラウドに送る技術

HPCシステムズについて

HPCシステムズは、ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)分野のニッチトップ企業です。

HPC事業では、科学技術計算用高性能コンピュータとシミュレーションソフトウェア販売、科学技術計算やディープラーニング(深層学習)環境を構築するシステムインテグレーションサービス、シミュレーションソフトウェアプログラムの並列化・高速化サービス、計算化学ソフトウェア、マテリアルズ・インフォマティクスのプログラム開発・販売、受託計算サービス・科学技術研究開発支援、創薬研究開発や素材・材料研究開発分野向けサイエンスクラウドサービスをワンストップで提供しています。

また、CTO事業では、顧客の用途、課題をヒアリングしながら、価格・性能・品質・高低温・防塵・防水・静電対策・過酷な環境に対する高耐久性など多種多様の対応が求められる、工場生産設備・製造装置・検査装置、制御機器や交通インフラ、自動運転、リテール店舗などのコントローラーとしての産業用コンピュータやエッジコンピュータの仕様提案から開発、生産、保守サポート、長期安定供給を実現しています。

社 名 HPCシステムズ株式会社 <https://www.hpc.co.jp/>

所在地 東京都港区海岸3丁目9番15号 LOOP-X 8階

設 立 2006年7月3日

資本金 2億2,936万円(2022年9月末現在)

代表者 代表取締役 小野 鉄平

社 名 東日本電信電話株式会社 <https://www.ntt-east.co.jp/>

所在地 東京都新宿区西新宿3-19-2

設 立 1999年7月1日

資本金 3,350億円

代表者 代表取締役社長 社長執行役員 澁谷 直樹

プレスリリースに関するお問い合わせ

https://www.hpc.co.jp/contact/company_form/